



第9号

「めぐみちゃんの まちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。西東京市は都内でも有数の苗木の生産地で、この特徴を活かした市民と植木事業者の皆さんがふれあうイベントを平成24年度より行っています。今年度は6月30日（日）に保谷庁舎を会場にして

『平成25年度第1回緑のアカデミー』を開催しました。



事業の
ねらい

都内有数の苗木の生産地であることを「緑のアカデミー」を通して情報発信し、市民が植木職人の技と緑にふれあいます。

事業の
効果

市民が市内産の苗木と職人の技にふれ、理解を深めます。

1 開会

「緑のアカデミー」は保谷庁舎敷地内を会場にして実施し、大人から子どもまで150名の市民の方が2回の入れ替え制で緑のアカデミーに参加しました。イベントでは、市内の植木事業者で構成される「田無緑化組合」の組合員17名に協力をいただき、デモンストレーション、アレンジメント教室、講習会を行いました。開会の際には、丸山市長、佐々木市議会議員や田無緑化組合の桜井組合長より挨拶をいただきました。



2 剪定パフォーマンス「匠の技 伐倒」

会場内には、植木職人の方が実際にチェーンソーを使用して木を伐採するために、大木のケヤキとクスノキがデモンストレーション用に設置されました。今回のデモンストレーションは、山の中での樹木の伐採方法とは異なり、西東京市のような市街地で樹木を伐採するための「吊切り」を披露してもらいました。「吊切り」とは、作業員が木に登り、クレーンに付けているロープで幹や枝を固定し、伐採をするものです。

チェーンソーによる伐木、吊切りを行う際に使用する重機等を扱うには資格が必要となります。木の上に登った桜井組合長の指示で、地上の組合員の方がクレーンを操作し、玉掛け等の伐倒を行う準備を進め、チェーンソーで伐倒を行います。地上の作業員と木の上の作業員の息の合った作業が必要となります。参加者の皆さんも真剣な眼差しで作業の様子を見守り、無事に木を切り終えた時には大きな拍手が起こりました。

今回のデモンストレーションで使用したケヤキとクスノキは、公園や街路樹としてよく目にするものがある樹木です。樟脳の香りが防虫効果があると言われていたクスノキは、幹が切られた後に爽やかな香りを会場にただよわせていました。



参加者の皆さんが見守る中、軽々と登っていきましました。



チェーンソーで慎重に切ります。



受け口



地上作業員の方も伐倒をします。

③ 樹木アレンジメント教室、グリーン・プロ講習会

100%
西東京市産!



緑のアカデミーでは、100%西東京市産の苗木と土を参加者の方に使用してもらいます。アレンジメントで使用する苗木は、田無緑化組合の皆さんが丹精こめて育てた選りすぐりの苗木です。アレンジメントの講師をしていただいた朝田副組合長も「ポット以外は全て西東京市産です!」とおっしゃっていました。

アレンジメントの最初のステップとして、参加者の皆さんそれぞれに苗木の配置を考えてもらいます。苗木の配置が決まったら、ポットの中に配置してバランスを確認し植え付けします。参加者の皆さんは、田無緑化組合員の講師の方々に積極的に質問をしたり、アドバイスをもらいながら作業を楽しんでいました。植え付けが終わると、講師の指導を受けながら自分で剪定に挑戦されている方もいました。剪定以外にも、アレンジメントをした苗木の手入れ方法を講師の方に教えてもらいました。



朝田副組合長が解説をしながら
実演してくれました。



苗木の配置は直感を信じて!!



一家みんなで相談して作業



根巻きしてある苗は、講師の方が
手早くほぐしてくれました。



同じ苗木でも、それぞれの個性あふれる
アレンジメントができてきました。



苗木の名前をプラントリストで確認中



早速教わった剪定に
自分で挑戦してみます。



ご質問に
お答えします!

質問コーナー

- Q. 室内で育てているシマトネリコがすぐに枯れてしまうのは何故ですか?
A. シマトネリコは乾燥に弱いので、エアコンの近くなどに置くのを避けて、適宜水をあげてください。
- Q. 完熟前のブルーベリーを摘まない場合、何かするべきことはありますか?
A. 鳥に実を食べられることがあるので、苗木全体をネットで覆ってあげてください。

グリーン・プロ講習会の後には、全体で質疑応答の時間を設け、田無緑化組合員の中からそれぞれの専門の方が、皆さんからの質問に丁寧に答えてくださいました。



④ 閉会

閉会では、田無緑化組合の中野副組合長より閉会のご挨拶をいただき、無事に平成25年度第1回緑のアカデミーを終了しました。退場の前には、班毎で記念撮影を行い、皆さんご自慢のアレンジメント樹木をお持ち帰りいただきました。また、田無緑化組合からカブトムシのお土産を希望者の中から抽選でいただきました。

秋には第2回緑のアカデミーの開催を予定しています。今後、市報やホームページでお知らせします。



みんなで一緒に記念写真♪



大人から子どもまで沢山の
参加者に楽しんでいただきました。



カブトムシは子どもにも大人にも大人気

西東京市では、貴重な農地を残していくために、「東京都農業・農地を活かしたまちづくり事業」を活用した、「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業」をすすめています。「緑のアカデミー」は本事業の支援を受けています。

発行:西東京市
生活文化スポーツ部
産業振興課

